

(その四)

工場又は事業場の名称	五井化成株式会社 本社工場
------------	------------------

3 基準年度以前から実施している揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策
 (1) 基準年度における処理回収率等

	基準年度							
	平成12年度							
使用量 (kg/年度) (1億キログラムを超える場合は、下段に指数表示で記載すること。)	1	5	0	0	0	0	0	0
	× 1 0							
排出等の量 (kg/年度)			1	1	0	0	0	0
処理回収率 (%)	1 0 0							

基準年度までに、浮屋根式タンク又は内部浮屋根式タンクに改造した固定屋根式タンクの基数(基)

--	--

備考

- 1 この項の提出は任意であること。
- 2 基準年度は、2(1)の基準年度と一致させること。
- 3 使用量及び排出等の量は、2(1)の基準年度におけるものと一致させること。
- 4 処理回収率は、次の式により算出される数値を有効数字2桁で記載すること。
 $\{ (使用量 - 排出等の量) / 使用量 \} \times 100$

(2) 基準年度以前から実施している対策の内容

基準年度以前から実施していた対策であって、現在も実施しているものについて、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせる場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策 10
5 1	5 2								

その他(19, 29, 39, 49, 59, 99)を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

--	--

備考 この項の提出は任意であること。

(その三)

工場又は事業場の名称	(株)ケミカルサービス 本社工場
------------	---------------------

(2) 揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

ア 計画年度に実施する対策の内容

(1)の計画年度の削減率を達成するための対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策10
2	9								

その他(19, 29, 39, 49, 59, 99)を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

下記の工程で製造する製品で、溶媒を回収・再利用することで購入量を低減した。

原料→溶媒の1次置換→反応→溶媒の2次置換→調整→製品

(1次置換及び2次置換とも同じ溶媒である。)

従来「溶媒の2次置換」で留出される溶媒を廃棄していたが、この溶媒中の水分及び反応溶剤の残渣量を管理することで次バッチの1次置換に使用することが可能となった。

備考 3(2)に記載する対策も含めて記載すること。

イ 目標年度の削減率を達成するために実施する対策の内容

(1)の目標年度の削減率を達成するため、基準年度の翌年度以降新たに実施し、又は実施した対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策10
2	9	5	2						

(その二)

工場又は事業場の名称	興亜硝子株式会社 (生産本部 PA加工部)
------------	--------------------------

(2) 揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

ア 計画年度に実施する対策の内容

(1)の計画年度の削減率を達成するための対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策10
2 : 1	2 : 2	9 : 2							

その他(19, 29, 39, 49, 59, 99)を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

イ 目標年度の削減率を達成するために実施する対策の内容

19 : 塗料の転換検討推進

99 : 塗装ガン設定での技術向上による塗着効率の向上

2 (1) 項の揮発性有機化合物の排出等の量の目標展開の補足説明

①基準年度は、塗装機3台がほぼ安定稼働に入った平成15年度とします。

②目標年度、計画年度共に、使用量及び排出量が増加していますが、受注量の変動及び顧客の製品仕様等の変化が主な増加要因と考えます。

従って削減率も、目標年度、計画年度共に大幅な未達成目標となっています。

③VOC削減を最重点課題として取り組みますが製品仕様変更等によりVOC排出量の結果が大幅に変動するので原単位指標も併せて取込みVOC削減につなげます。

原単位ベースでは平成21年(10%削減)、平成22年度(20%削減)削減目標で取り組みます。(参考)原単位=VOC排出量/塗装通過本数

備考 3(2)に記載する対策も含めて記載すること。

イ 目標年度の削減率を達成するために実施する対策の内容

(1)の目標年度の削減率を達成するため、基準年度の翌年度以降新たに実施し、又は実施した対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策10
2 : 1	2 : 2	9 : 2	9 : 1	1 : 9	9 : 9				

↑ 対策4以降は追加する施策

(その四)

工場又は事業場の名称	
------------	--

(その三)

工場又は事業場の名称	株式会社 日商グラビア
	株式会社 日商グラビア

(2) 揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

ア 計画年度に実施する対策の内容

(1)の計画年度の削減率を達成するための対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせる場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策10
12	21	31	91						

その他(19, 29, 39, 49, 59, 99)を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

--

備考 3(2)に記載する対策も含めて記載すること。

イ 目標年度の削減率を達成するために実施する対策の内容

(1)の目標年度の削減率を達成するため、基準年度の翌年度以降新たに実施し、又は実施した対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせる場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策10
12	21	31	54	55	91				

(その四)

工場又は事業場の名称	株式会社 日商グラビア 株式会社 日商グラビア
------------	----------------------------

3 基準年度以前から実施している揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

(1) 基準年度における処理回収率等

	基準年度	
	平成	12 年度
使用量 (kg/年度) (1億キログラムを超える場合は、下段に指数表示で記載すること。)	920000	
		× 1 0
排出等の量 (kg/年度)	830000	
処理回収率 (%)	9.8 %	

基準年度までに、浮屋根式タンク又は内部浮屋根式タンクに改造した固定屋根式タンクの基数(基)	
	0

備考

- この項の提出は任意であること。
- 基準年度は、2(1)の基準年度と一致させること。
- 使用量及び排出等の量は、2(1)の基準年度におけるものと一致させること。
- 処理回収率は、次の式により算出される数値を有効数字2桁で記載すること。

$$\{ (\text{使用量} - \text{排出等の量}) / \text{使用量} \} \times 100$$

(2) 基準年度以前から実施している対策の内容

基準年度以前から実施していた対策であって、現在も実施しているものについて、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせる場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策10
12	21	31	91						

その他(19, 29, 39, 49, 59, 99)を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

備考 この項の提出は任意であること。

(その三)

工場又は事業場の名称	日新製鋼株式会社 市川製造所
------------	-------------------

(2) 揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

ア 計画年度に実施する対策の内容

(1)の計画年度の削減率を達成するための対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせる場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策10
21	51								

その他(19, 29, 39, 49, 59, 99)を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

--

備考 3 (2) に記載する対策も含めて記載すること。

イ 目標年度の削減率を達成するために実施する対策の内容

(1)の目標年度の削減率を達成するため、基準年度の翌年度以降新たに実施し、又は実施した対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせる場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策10
21	51	56							

(その三)

工場又は事業場の名称	株式会社日立産機システム 習志野事業所
------------	------------------------

(2) 揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

ア 計画年度に実施する対策の内容

(1)の計画年度の削減率を達成するための対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせる場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策10
11	22	29	99						

その他(19, 29, 39, 49, 59, 99)を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

<p>対策3について</p> <p>塗料調合時のビニール袋保護による容器の洗浄回数低減化を行います。</p> <p>対策4について</p> <p>ワニス・溶剤を大量に使用する製品の製造を終了します。</p>

備考 3(2)に記載する対策も含めて記載すること。

イ 目標年度の削減率を達成するために実施する対策の内容

(1)の目標年度の削減率を達成するため、基準年度の翌年度以降新たに実施し、又は実施した対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせる場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策10
11	12	22	29	94	99				

(その二)

工場又は事業場の名称	株式会社パールマネキン パールデポ関東流通センター
------------	------------------------------

(2) 揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

ア 計画年度に実施する対策の内容

(1)の計画年度の削減率を達成するための対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策 10								
2	1	2	2	2	3	3	3	5	2	9	1	9	4	2	9		

その他(19、29、39、49、59、99)を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

<ul style="list-style-type: none"> 塗装技術の改善による抑制 <ul style="list-style-type: none"> ガン圧力、パターンの調整、塗面との距離、ガン操作スピードなどで捨てる塗料を減らし使用量を削減 同色系の調達による抑制 <ul style="list-style-type: none"> 下塗りと上塗りとは同色系の物を調達することで使用量を削減 調色時に隠ぺい力をUPさせる工夫を加える <ul style="list-style-type: none"> 原色に近い塗料での塗装は、ムラ吹きになり易い事から工程が多くなり使用量と工程を減らす為、入孔すぎない程度にホリゾトを加える
--

備考 3(2)に記載する対策も含めて記載すること。

イ 目標年度の削減率を達成するために実施する対策の内容

(1)の目標年度の削減率を達成するため、基準年度の翌年度以降新たに実施し、又は実施した対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策 10
9	4	2	9						

(その四)

工場又は事業場の名称	東邦シートフレーム株式会社 八千代事業所
------------	-------------------------

3 基準年度以前から実施している揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

(1) 基準年度における処理回収率等

	基準年度				
	12年度				
使用量 (kg/年度) (1億キログラムを超える場合は、下段に指数表示で記載すること。)	4	4	0	0	0
	×1				
排出等の量 (kg/年度)	1	4	0	0	0
処理回収率 (%)	68				

基準年度までに、浮屋根式タンク又は内部浮屋根式タンクに改造した固定屋根式タンクの基数(基)

--	--	--	--	--

備考

- この項の提出は任意であること。
- 基準年度は、2(1)の基準年度と一致させること。
- 使用量及び排出等の量は、2(1)の基準年度におけるものと一致させること。
- 処理回収率は、次の式により算出される数値を有効数字2桁で記載すること。

$$\{ (使用量 - 排出等の量) / 使用量 \} \times 100$$

(2) 基準年度以前から実施している対策の内容

基準年度以前から実施していた対策であって、現在も実施しているものについて、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策1	対策2	対策3	対策4	対策5	対策6	対策7	対策8	対策9	対策10
2	1	2	2	9	1	5	6		

その他(19, 29, 39, 49, 59, 99)を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

H11年4月に、事業所内にある施設の中で最もVOC排出量の多い施設に排ガス処理施設(蓄熱式脱臭装置)を導入し、排ガス中VOC成分を酸化分解処理することで事業所全体のVOC排出量の約7割を処理しております。

その他の設備においては、溶剤管理の徹底、作業の効率化を実施し、歩留まりの改善を継続して取り組み、製品に対するVOC排出量(原単位 kg/t)を毎年削減しています。

(その三)

工場又は事業場の名称	東洋合成工業株式会社 高浜油槽所
------------	---------------------

(2) 揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

ア 計画年度に実施する対策の内容

(1)の計画年度の削減率を達成するための対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせる場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策10
31									

その他(19, 29, 39, 49, 59, 99)を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

--

備考 3 (2) に記載する対策も含めて記載すること。

イ 目標年度の削減率を達成するために実施する対策の内容

(1)の目標年度の削減率を達成するため、基準年度の翌年度以降新たに実施し、又は実施した対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせる場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策10
31									

